

私たちはボランティア精神のもと  
「市民後見人」として、地域社会に貢献することを目指します。

# 会報/市民後見人の会 No. 187

2023年6月25日発行 通巻No.197号

創刊2007年2月26日

発行/特定非営利活動法人 市民後見人の会

〒140-0014 東京都品川区大井 1-15-1 品川成年後見センター分室3階

TEL : 080-3912-3259 (通話専用 月～金曜日の10時～16時の間対応します。)

TEL&FAX : 03-6303-8265

MAIL : npokouken@gmail.com HP : <http://www.shiminkoukenninnokai.jp>

## ◆Sさんの納骨法要◆

理事・後見部会 杉山麻里子

5月17日、真夏を思わせる日差しが照りつける中、西大井の帰命山養玉院如来寺で納骨法要が行われました。今回私共の会で受任した2名を含む21柱が成魂碑に眠ることとなりました。

私が担当していたSさん(女性、享年94歳、会報180号参照)もこの日納骨されました。Sさんの甥御さん夫婦、関係者等合わせ20余名が参列する中、午前11時から本堂で僧侶の読経と参列者による焼香が行われました。1時間余りの納骨法要が終わると祭壇に並べられた骨壺は成魂碑の前へと運ばれました。既に成魂碑の一部が開けられ、速やかに全てのお骨は成魂碑の中へと納められました。

ここには当会で受任したSさんの義姉Hさんも眠っています。奇しくも今年はHさんの七回忌にあたります。長く私たちが担当していたSさんが亡くなられたことは淋しいですがこれで仲の良かった義姉妹が一緒に眠ることができました。

成魂碑は平成28年1月25日に開眼法要され、納骨法要は今回で13回目となります。何らかの事情で埋葬場所がない方々を埋葬し、故人の尊厳を守ることを目的として成魂碑は建立されました。今では183柱(その内本会がお世話した方たち10柱)が縁あって同じ品川の地で安らかに眠っています。



## ◆2023 年度通常総会が終了◆

2023 年度通常総会が昨年に続き下記のとおり平常的に開催されました。

日時：2023 年 6 月 10 日（土）13：30～14：30

場所：品川区立中小企業センター大講習室

議案：第 1 号議案～第 4 号議案

会員総数 102 名中、81 名の参加（当日出席 38 名、委任状提出 26 名、議決権行使 17 名）で総会は成立し、馬庭俊一郎理事の進行により総会が始まり、最初に高原三平理事長より開会の言葉が述べられた。

「本日は久しぶりに多くの会員が集まり嬉しく思っています。今年は本会が NPO 法人となつてちょうど 15 周年を迎えました。2008 年に後見第 1 号受任しこれまで 54 件を受任してきました。これまで本会が着実に進んできたのも会を立ち上げた先輩諸氏をはじめ会員一人ひとりの努力があればこそです。感謝申し上げます。成年後見制度は 2000 年に介護保険制度と同時にスタートしました。しかし介護保険制度に比べ成年後見制度は広がっていません。国も様々な施策を進めていますがまだまだ進んでいません。この事は市民後見人にとつてもある意味死活問題であり、本会も真剣にこの問題に向き合っていく必要があります。

コロナ禍により本会の活動（身上保護）も困難を抱えてきましたが、下火傾向となつてきたので今こそギアチェンジを図る時です。

今年の本会の養成講座を受けた方たちの中から 23 名の方たちが本会に入会された。これは今までで一番多い数で、その内 10 名の方たちが今日参加されています。新しい方たちも早く本会になじんで一緒に活動できたらと思います。どうぞよろしくお願い致します」

その後、高原理事長が議長に選出され議事が始まりました。「第 1 号議案 2022 年度事業報告」「第 2 号議案 2022 年度決算報告」「第 3 号議案 2023 年度事業計画」「第 4 号議案 2023 年度活動予算」の各説明がなされ質疑応答の後、全議案とも原案とおり可決され総会は終了しました。

総会后、出席者の殆どが 4 年ぶりの飲食を伴う懇親会に参加し、新会員の方たちの自己紹介をはじめ参加者の挨拶等が行われ、おおいに盛り上がり親睦を深めることが出来、この日の集まりを成功裏に終了しました。



## ◆5 月度理事会報告◆

理事・事務局 馬庭俊一郎

1. 開催日時 2023 年 5 月 15 日 15 時 00 分～17 時 00 分
2. 開催場所 品川区社会福祉協議会ボランティア活動室（1003 号室）
3. 出席理事 齊藤裕二、杉谷徹夫、杉山麻里子、高原三平、馬庭俊一郎各理事
4. オブザーバー 小川雅之監事

### 〈審議事項〉

#### ①2023 年度社協支援員推薦について

議長より別添資料にて説明があり審議の結果下記の通り決議した。

1. 2022 年開始・2 年目 7 名推薦
2. 2023 年開始・1 年目 16 名推薦（面談未了の方については理事長一任とした）
3. 連絡支援員 3 名推薦 合計 26 名

### 〈協議事項〉

#### ①社協との「支援員受入れについての確認」について

別添資料にて協議、確認した。

#### ②設立 15 周年記念出版につて

別添資料にて協議した。

1. 第 2 回本委員会議事録の確認
2. 各 WG よりの報告
3. 編集上の約束事他

### 〈報告・連絡事項〉

#### ①2023 年度総会について（高原）

別添資料にて報告があった。

#### ②新入会員へのヒアリングについて（齊藤）

ヒアリングの実施状況について報告があった。

#### ③合同納骨（5/17）について（齊藤）

別添資料にて報告があった。

#### ④大井第一地区民生委員主催の「シニアサロン」での講演依頼について（高原）

6/19 高原理事長が講演するとの報告があった。

#### ⑤その他

新 HP 説明会の実施について（馬庭）

警察庁のまとめで、認知症で行方不明になった人が 2022 年に 18、709 人だった事が分かりました。10 年間で倍増だそうです。専門家が「人との関わりが生命線。街で気になる人を見かけたら素通りせずそっと声をかけて欲しい。そうした小さな事が大きな力になる。行方不明を防ぐには社会みんなの力が必要」と言っています（毎日新聞 6・23）。スマホを見ながらの歩行ではそれはできない。（編集 金城 清）